

小澤製作所 NEW FACE

第一工部部

やまもと きよと
山本 清人さん



これまでの経験と入社のきっかけ

職場環境に魅力を感じ、 派遣社員から正社員へ

前職では施工管理の派遣社員として働いており、その中で小澤製作所に派遣される機会がありました。1年の経験を通じて、正社員への転換を考えるように。職場の皆さんが優しく教えてくれ、未経験の私を受け入れてくださったことが大きな魅力でした。特に、職人の方との関わりから仕事の奥深さを学べる環境に感謝しています。給与面でも魅力を感じたこと、「必要とされている」と感じたことが入社の決め手になりました。



山本さんに 一問一答！

Q. 出身地はどこですか？

愛知県西尾市です。

Q. 趣味を教えてください

小学校から続けているバスケットボールです。

Q. チャレンジしたいこと

貯金や投資、税金関係のお金について勉強したいと思っています。

Q. アピールポイントを教えてください

正直に意見を言うところです。

Q. リフレッシュ方法を教えてください

地域のバスケットボールチームに入っており、友人と一緒にバスケットボールをする時間が一番気持ちを切り替えることができます。



今後の意気込み

仲間として受け入れてくださってありがとうございます。早く1つの工事を1人でまもられるように頑張ります！どうぞよろしくお願いします。

新たに仲間入りした中途社員をご紹介します！
前職での経験はさまざま、個性的なメンバー揃いです。
出身地や趣味など、気になる質問にもお答えいただきました。
ぜひ交流のきっかけにしてみてください。

第二工部部

つちや すぐる
土屋 優さん



これまでの経験と入社のきっかけ

やりたいことと 社員の人が自分にマッチ

約18年間、鉄骨関係の建築に携わってきました。機械やプラントの管理業務に興味があり、転職を考えていたところ、見つけたのが小澤製作所。業務内容はもちろん、面接時にお話をさせていただいた社員の皆さんの雰囲気も良く、他社を受けることなく入社を決めました。また、建築業界では珍しいほどの手厚い福利厚生に惹かれたことも決め手の一つです。フリーランスで仕事をしていた期間も長く、会社員として安心した環境で働けることに魅力を感じています。

土屋さんに 一問一答！

Q. 出身地はどこですか？

京都府京都市伏見区です。
地元を離れてからもう15年ほど経ちます。

Q. 趣味を教えてください

登山と狩猟です。
伊吹山や養老山によく行きます。

Q. チャレンジしたいこと

今までの経験を活かして、幅広い分野の仕事にチャレンジしたいと思っています。

Q. ちょっとだけ自慢できること

自分で獲ったシカを捌くことができます。

Q. 座右の銘は？

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」。よくわからないままで進めるのが嫌な私たちです。

今後の意気込み

2025年2月1日に入社したばかりで、業界としては未経験。皆さんにご迷惑をかけるためにも、質問や相談をする機会が多々あると思います。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします！



稲葉
顧問
に聞く

小澤製作所の「今と昔」

現社長よりも前から、長く小澤製作所を支えてきた稲葉さん。現在は顧問として、お客様とのコミュニケーションや現地調査、後方支援に尽力されています。初代社長もよく知る稲葉さんに、当時から振り返って今の小澤製作所との違いなどを伺いました。



昔の小澤製作所について

初代社長時代に苦労を経験したからこそ今がある

創業者である小澤前社長は、いわゆるワンマン社長でした。社長がすべてを取り仕切り、社員はそれについていくような社風。怒ると物が飛んでくるような怖い一面もありましたが、誰よりも情に厚く、社員思いの方でした。厳しさゆえに、私も一

時は疲弊してしまい、一週間ほどお休みをいただいたことがあります。戻ったときには温かく迎え入れていただき、ここまで育てていただいたことに今では感謝しかありません。

思い出は、正月工事で100人分の炊き出しをしたこと

当時は、事業や職種ごとに部署を分けておらず、私自身も経理などの事務作業から営業活動まで幅広い業務をしていました。今でも覚えているのは、約40年前、主要取引先である加藤化学さんの現場を手伝うために、正月休みを返上して100人近い作業員を稼働したときのこと。河和事務所に集まった100人のために、約10日間にわたって女性陣が食事の用意や洗濯などを行いました。作業のサポートをしながら、その活気を分けてもらっていたような気がします。当時の親方には叱られた思い出もたくさんあります。作業を

終え、寒いなか事務所に帰ってきた皆さんに提供した味噌汁が冷えていたことがあり、お怒りに。これも、部下を思いやっていたの優しさです。この親方は今でも河和事務所に在籍しているため、月に1度のペースで顔を出し、交流がてら事務所の掃除や片づけなどを手伝っています。時代が変わり、親方も昔のような激しい一面を見せることはなくなりましたが、私自身が氣遣いを学ぶことができたのは、先代の社長や親方のおかげだと思っています。

稲葉さんから見る今の小澤製作所

会社の危機を救った若い2人の存在

小澤前社長の後継ぎが決まらず、廃業も視野に入れていたとき、「僕たちに任せてください」と手を挙げてくれたのが現社長の香山さんと澤井さんです。小澤前社長と同じように高い学歴があり、自分の専門分野を持っていたため、採用時から会社を担っていくことを期待されていた2人でした。入社から短い期間での社長就任でしたが、会社の不況を救い、立て直しに成功しています。



香山社長と澤井社長の魅力

社員それぞれの役割分担や役割づけが的確で、時代に沿った事業展開ができていると感じます。社員一人ひとりが尊重されている実感があり、モチベーションになっているのではないのでしょうか。当社は、

昔から人と人のつながりを大切にする社風があります。今でもそれは変わらず、現社長の2人も人望に溢れ、ついていくべき存在です。

今後の展望

顧問として後方支援を続けていきたい

これまでにお付き合いのあるお客様が今後も当社と関わり続けてくださるよう、定期的に顔を出すなどして関係性構築に努めています。また、経営アドバイスというほどではありませんが、日頃からパーキングの入庫状況をチェックしたり、パーキング候補

になりそうな空き地を探したりしています。何か有益な情報が見つかった際には、現社長の2人に共有。身体が健康な限りは、年齢にかかわらず生涯現役でいたいと考えています。

社員に対しての
メッセージ

現在の小澤製作所は、皆さんの個性を活かせる環境があり、仕事のやりがいを見出せる職場だと思います。香山社長と澤井社長についていけば間違いありません。会社は今後さらに成長していくでしょう。